

## 学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。  
なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

### 【全国学力・学習状況調査結果の概要】

#### 成果

国語では、思考・判断・表現を問う「文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する」問題において、全国の正答率を上回りました。

算数では、知識・技能を問う「速さを求める割り算の式と商の意味の理解」や「場面から数量の関係を捉えて割り算の式に表し、計算をすること」、また「棒グラフから数量を読み取る」問題において、全国の正答率を上回りました。また、思考・判断・表現に係る「示された割り算の結果について、日常生活の場面に即して判断する」短答式の問題において、無解答率の割合が低くなっていました。

質問紙調査では、「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の設問に「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童の割合は、令和2年度（市学力アセス）と比較すると増加していました。また、「自分には、よいところがあると思いますか」の設問に肯定的に回答した児童の割合が全国を上回りました。

#### 課題と対応

国語では、言葉の特徴や使い方に関する内容である「漢字を文の中で正しく使う」ことや「文の中における主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係を捉える」設問において、課題が見られました。そこで、今後は国語をはじめ、すべての授業において文章を書く活動場面で漢字を正しく書くよう助言したり、主語と述語、修飾語と被修飾語の正しい関係について考える場面を取り入れたりする等の授業改善を進めていきます。

算数では、領域「データの活用」に関する内容を問う設問において、課題が見られました。特に、「データを二次元の表に分類整理すること」や「複数のデータの比較から特徴を捉える」ことに苦手意識がある児童の割合が高いことから、あらゆる学習活動の場面で、データに基づいて判断する統計的な問題解決の方法を知ったり、考察したりする授業を進めていきます。

全国に比べて無解答率が高い傾向がみられるため、普段の授業から「最後まで粘り強く考える」「自分なりの考えをもつ」場面の設定や個別の支援をより一層取り入れながら指導を継続していきます。

### 【保護者・学区の方へのお願い】

本校の児童は自己肯定感が高い傾向にあり、また「学校に行くのが楽しい」と感じています。これは、児童が安心して学校生活を送ることができるようにするために、地域の方々から毎日の登下校時の見守りやあいさつ、声かけをいただいているおかげであると考えます。今後も、地域全体で児童への温かな関わりをお願いします。

また、学力の基礎・基本の定着を目指すため、学校と家庭が一体となる必要があると考えます。引き続き、「家庭学習の手引き」や「家庭学習の達人カード」への取組については、家庭における学習が計画的・自主的・継続的に取り組めるものとなるよう保護者の皆様の支援をお願いします。

## 令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

## 成果

	教科・質問紙	成果
第4学年	国語	基本的な漢字の読み書きは定着している。
	社会	航空写真と説明を捉え、地図が示している場所を判断することができる。
	算数	かさを表す単位について理解している。
	理科	資料から昆虫のいそうなところを推測することができる。
	学習状況	家で学校の宿題をしている児童が多い。
第5学年	国語	聞き手に分かりやすい話し方の工夫を考えている。
	社会	都道府県の名称や主な特産物を理解している。
	算数	直方体について理解している。
	理科	金属のあたたまり方を理解している。
	学習状況	読書が好きな児童が多い。

## 課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第4学年	国語	共通点や相違点に着目して考えをまとめることに課題がある。	国語では、課題に即した視点をもって、共通点や相違点を判断することや、社会では適した資料を選択し、そこから必要な情報を読み取ること、算数では、数量の関係を理解し、それを式に表すこと、理科では、実験の目的を理解し、その結果から分かることを整理することに課題がある。 今後の授業を通しての改善策としては、めあてをより児童が必要を感じるものを設定すること。また、具体的に学習活動の見直しをもって取り組めるものにしていきたい。そこから、そのめあてに沿った、学習の仕方を児童が考えることができる活動を設定する必要があると考える。 学習状況については、自校で作成配付している「家庭学習の手引き」や「自主勉強の方法」を活用し、復習や発展学習ができるようにしていきたい。
	社会	資料から情報を読み取ることに課題がある。	
	算数	かけ算・わり算を使って、数量の関係を式にして計算することに課題がある。	
	理科	実験の結果をもとに、めあてに合わせてまとめを書くことに課題がある。	
	学習状況	授業で学習した内容をよりくわしく調べてみたいと思う児童が少ない。	
第5学年	国語	主語と述語、熟語の構成の理解に課題があり、叙述を基に捉えることにも課題がある。	国語科においては、言葉の意味を知らないことが考えられるため、意味調べや読書の時間を多く取り入れていく。また、どの教科においても言葉の補足を入れるようにする。 社会科においては、自分の生活や資料とを「つなげて」や「このことから」など、キーワードとなる言葉を使って自分の考えが書ける機会を作るようにする。 算数科や理科では、授業内で説明をしたり、ノートに説明を書いたりする機会を多く作っていく。また、友達の良い説明をコピーして見合えるようにしたり、Chromebookにアップしていつでも見られるようにしたりしていきたい。 自校で作成配布している、家庭学習の手引きや自主勉強の方法などを活用して、振り返りや復習に加え、意味調べや説明を書くよう児童に伝えたい。
	社会	自分の生活や資料と資料を関連付けて表現することに課題がある。	
	算数	計算の順序、商とあまり、角度、円の性質など説明する力に課題がある。	
	理科	説明することに課題がある。	
	学習状況	家で、自分で計画を立てて勉強している児童が少ない。	

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査から、家庭での学習時間が短く、携帯電話やスマートフォン、ゲームの使用時間が長いという実態が分かりました。学校から配付している「家庭学習の手引き」を基に、家庭学習の時間や内容について子どもたちと相談しながら、自主的な学習ができるように支援をお願いします。

あいさつなどの声かけや、登下校時間の見守りなど、地域全体で子どもたちへの関わりを今後ともよろしく願います。